

報告事項才

平成26年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

平成26年度特別支援学校就労促進セミナーを実施しましたので、別紙のとおり報告します。

平成26年11月10日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度特別支援学校就労促進セミナーの実施報告について

特別支援教育課

1 目的

- (1) 特別支援学校の生徒の状況を事業所に周知し、障がいへの理解・啓発を促進する。
- (2) 本人、障がい者雇用・就労に関わる事業所、卒業生、支援者など、それぞれの立場から障がい者の就労促進について、現状や思いを発表し合い、参加者全員が障がい者の就労についての理解を深め、就労促進について考える機会とする。

2 実施概要

(1) セミナーの内容

各圏域ごとに以下の内容で開催。

東部地区	中部地区	西部地区
7月17日(木)	9月16日(火)	9月11日(木)
主幹：鳥取盲学校	主幹：倉吉養護学校	主幹：米子養護学校
各学校紹介 授業公開 意見発表 講演 (就労サポーター 小林 博 氏)	意見発表 作業学習公開 カフェ 講演 (鳥取県知事 平井 伸治 氏 ドアーズ代表取締役 柴田 智宏 氏)	学習公開 意見発表 アトラクション 講演 (日本海冷凍魚株式会社 代表取締役社長 越河 彰統 氏 生産部マネージャー 柳楽 一成 氏)

(2) 参加者数

<平成26年度参加者数>

	東部地区	中部地区	西部地区
事業所	38名 (34社)	59名 (45社)	73名 (60社)
関係機関	30名	29名	15名
保護者	38名	11名	54名
その他	135名	80名	141名
合計	241名	179名	283名

関係機関…労働局、ハローワーク、福祉関係部署 等

その他…生徒、小中学校及び高等学校教職員 等

3 成果等

各圏域とも生徒の生き生きと作業する様子や発表を公開しており、生徒の真剣な思いを知ってもらうよい機会となった。また、実際に生徒の姿を見ってもらうことで、企業関係者への理解・啓発にもつながっている。

(参加者感想より)

- ・学習の中に就労に向けた支援が見られ、よかった。また、児童生徒が適切な支援を受け、生き生き活動している様子も伺えた。
- ・一生懸命さが接客に出ていて、とても気持ちよく時間を過ごさせてもらいました。経験を重ねることが接客の質アップにつながると思います。
- ・生徒個人によって障がいの状況がかなり違うことに気付いた。企業にとっては、日常生活や労働への影響が少なければ採用の可能性は高い。ただ、安全面、事故については心配だと思った。
- ・一人一人の思いや将来についての希望が伝わり力強い発表だった。それぞれのステージでしっかりと前を見つめて仕事をしてください。
- ・生徒・卒業生が頑張っている姿が少しでも見られて良かった。雇用企業が受け入れることによって良い方向に変化させている実情が発表されてよかった。

4 次年度に向けて

各圏域ごとに生徒の働く姿や意欲・態度等をさらに前面に出し、企業就労に向けてアピールする内容を検討する。本年度までは学校裁量予算の事業として実施してきたが、各圏域とも企業就労に向けた取組として強化されてきたので、平成27年度からは就労促進事業の一環として事業組みをする。(予定)